栗東市 DX 推進計画 【概要版】

令和７年９月２５日（木）
第１回行政改革懇談会　資料６

背景・趣旨

少子高齢化による人口減少社会の進行、社会情勢の変化に伴い多様化する市民ニーズへの対応、行政手続のデジタル化が求められている中で、デジタル技術の活用によって、業務の効率化を図り市民の利便性を向上するため、「栗東市 DX 推進計画」を策定しDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進していきます。

計画期間

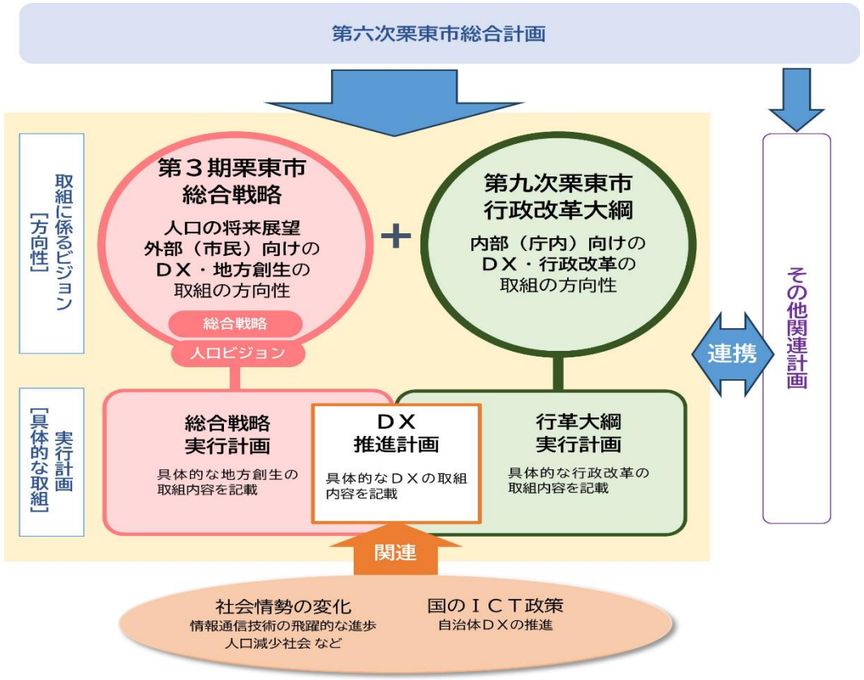
令和7年度から令和 11 年度までの 5 年間

※本計画は上位計画及び社会経済の動き、デジタル技術の進展を踏まえ、適宜見直しを行います。

計画の位置づけ

本計画は、「栗東市総合計画」を上位計画とし、「第3期総合戦略」および「栗東市行革大綱」との整合を図ると共に、これらの推進を DX で補完するものとして位置づけ策定しています。

また、総合戦略、行革大綱の取組と DX は密接に関連しているため、３つの計画を一体的に作成し、共通の「取組シート」で連動させ、進行管理や毎年の見直しを実施していきます。



具体的な取り組みの例

基本方針1 「行政事務の効率化」

行革大綱実行計画と連携

デジタル技術や AI 等の活用による行政事務の更なる効率化

●スマート窓口の推進
- ・手続きのオンライン化の拡充(P.19)
- ・書かない窓口の推進(P.21) など

●デジタルを活用した市税などの収納チャネルの多様化
- ・キャッシュレス決済システムの導入による収納チャネルの多様化(P.27) など

●事務効率化ツールの利用促進
- ・生成 AI の活用(P.37)
- ・AI-OCR、RPA の活用(P.39) など

●スクラップ＆ビルドによる事務事業見直し
- ・DX を用いた事務作業・手順の見直し(P.51)

●多様で柔軟な職場環境づくり
- ・テレワークの活用(P.57)
- ・公用スマートフォンの導入検討(P.59) など

●専門的な知識を持つ職員の育成
- ・専門的な知識を持つ職員の育成(P.61)

基本方針2 「市民の利便性向上」

総合戦略実行計画と連携

自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用した、住民の利便性の向上

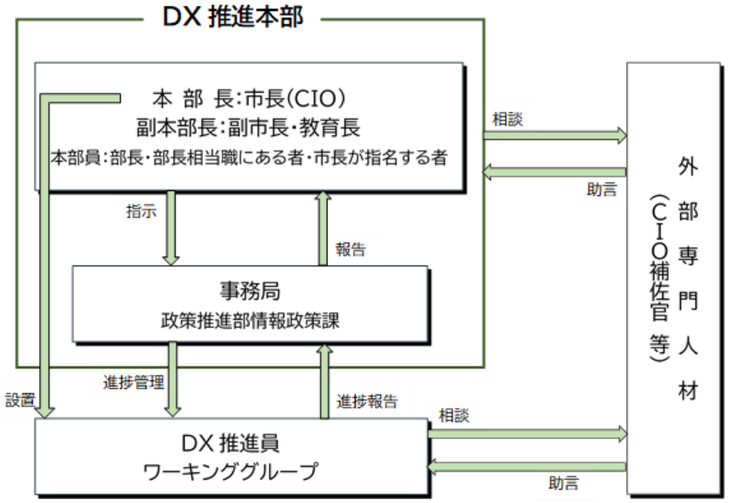
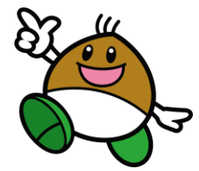
●子育てしやすいまちをつくる
- ・手続きのオンライン化の拡充(P.19)
- ・書かない窓口の推進(P.21)
- ・子育て情報の収集・発信の充実(P.69)
- ・学ぶ力向上に向けての学校 DX の推進(P.71) など

●住みよいまちをつくる
- ・公開型 GIS の導入(P.31)
- ・Wi-Fi 環境の整備(P.73) など

●安心して働けるまちをつくる
- ・市内企業のデジタル化・省力化の促進(P.77)
- ・デジタル人材育成の支援(P.79) など

●選ばれるまちをつくる
- ・SNS を活用した市の PR、有益・魅力ある情報の発信(P.81)
- ・観光情報の発信や観光事業の面から馬を活かしたまちづくりなどに DX 推進を検討(P.83) など

推進体制



- ・市長を本部長、副市長・教育長を副本部長、各部局長等を本部員とする DX 推進本部を設置し、計画を推進します。
- ・業務ごとに DX 推進員の中からワーキンググループを設置し、取組を検討します。
- ・外部人材を必要に応じて登用し、専門的な知見やノウハウを取り入れます。